

医学生ボランティア、岩手へ！

東京民医連・東日本大震災医学生震災ボランティアネットワークでは、8月29日～31日まで医学生5人とスタッフ2人が岩手の災害ボランティアに参加し、側溝の泥かきボランティアと支援物資を住民へ配布するボランティアの二手に分かれて支援活動を行ってきました。以下に参加した学生さんの感想を紹介します。

<感想文より>

◆側溝の泥かきをやってきました。泥は風化し固まっている上、針金や長靴や岩などが混ざって側溝に詰まっていたので、それをかき出す作業はとても大変でした。泥に交じって貝殻が出てくるので、本当にここまで津波がきたのだということを実感させられました。約15人で一日かけて側溝の泥かきをやったのに、進んだ距離は30m程度で、自分の非力さを感じましたが、このような小さな努力が積み重なって復興へと繋がっていくのだとも思いました。



◆被災地への支援は、住民の方々の不安を払拭するには至っていないように思います。まだまだ側溝の泥かきやがれき撤去のような支援や、介護用オムツ・幼児用ミルクのような物資は不足しています。また、就労援助や先に見える義捐金援助、失業保険や生活保護など社会保障の柔軟な適応、復旧・復興プランの提示といった、被災地でこれからも続いていく社会生活への包括的なバックアップがすでに必要となってきています。そしてなにより、被災地の方々の不安を



希望に変えるには、私たちが忘れないこと、関心を持ち支援をし続けることが大切です。

◆今回の震災ボランティアを通して、震災地はまだまだボランティアを必要としていることを知ることができました。復興活動は数十年にわたると言われています。しかしもうすでに東日本大震災を過去の出来事としてとらえ意識が薄れている人も多いと思います。私は今回ボランティアで実際に見てきたことを周りの人に話し、一人でも多くの方が今の自分に出来る事を考えるきっかけになってほしいと思っています。

<これまでの東京民医連からの支援者数>

全支援部隊数	213 隊		
全支援者数	580 人	延支援者数(日数)	2,534 日
医師	88 人	延医師数	419 日
看護師	109 人	延看護師数	508 日
薬剤師	28 人	延薬剤師数	139 日
歯科医師	10 人	延歯科医師数	45 日
セラピスト	29 人	延セラピスト数	146 日
介護職	36 人	延介護職数	201 日
事務	155 人	延事務数	580 日
その他	125 人	延その他数	496 日

8/22 現在で延べ 2500 日を突破しました。